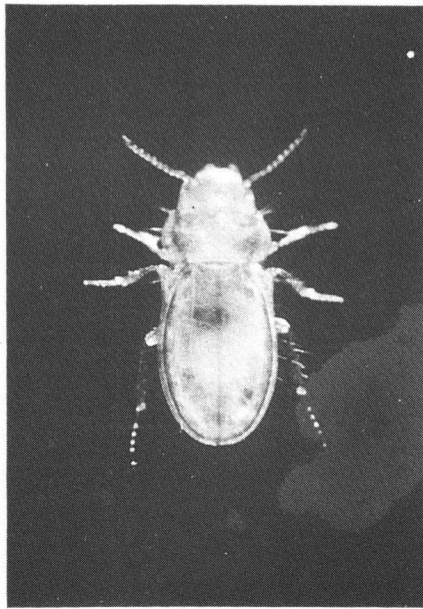
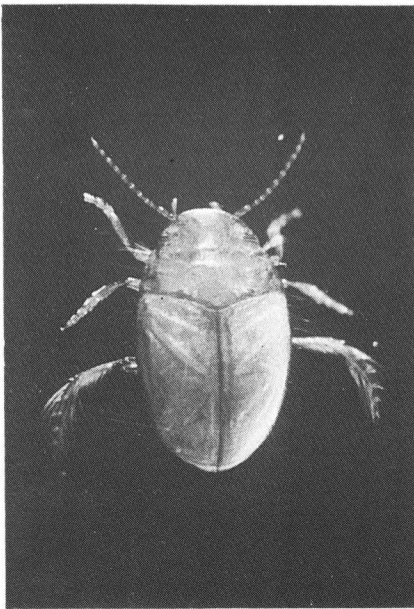


ISSN0912-0114

南予生物

Vol. 9 No. 1・2 1996



南予生物研究会

《表紙説明》

写真1

写真2

写真1 メクラケシゲンゴロウ *Dimitshdrus typhlops* S. UENO

写真2 ウワジマムカシゲンゴロウ *Phreatodytes morhrii* S. UENO

本県の宇和島市の井戸からメクラケシゲンゴロウ（写真1）とウワジマムカシゲンゴロウ（写真2）という新種がそれぞれ記載され、発表された（Shun-Ichi UENO, 1996）。前者はケシゲンゴロウ族の新属新種であり、後者はムカシゲンゴロウ属の新種である。それらの発見の経過などについては、本文に詳しいので参照して欲しい。また、それらの記載については下記の論文を参考にするとよいだろう。UENO（1996）によれば、日本で見つかった盲目の地下水性甲虫類は計10種であり、世界の既知種の半数を占めているという。さらに、陸生の地下水性甲虫類に関する研究結果から、水生昆虫でもとくに西日本で分化が進んでいるのではないかという。

今後の研究に期待したい。

Shun-Ichi UENO, 1996. New Phreatobiontic Beetles (Coleoptera, Phreatodrtidae and Dytiscidae) from Japan, J. speleol. Soc. Jap., 21, 1-50.

（写真提供・解説 毛利俊樹）